

## 提 案 書

提案名 (25字以内)	ハマのパークキャラバン IN 高島中央公園2015
グループ名 (25字以内)	NPO 法人ハマのトウダイ

【1】提案グループの現在の主な地域社会貢献活動の内容及び最近5年以内の実績、またグループの紹介を記入してください。

NPO 法人ハマのトウダイは平成26年12月に設立された団体で、中小企業とともに地域の課題や社会問題を解決していきます。主な事業は①大学でのキャリア教育事業、②商店街の活性化事業、③小学校のキッズスクール事業、④公園愛護会としての公園活性化事業となります。そのうち、横浜市内に約2600ある街区公園のうち、10%弱が愛護会の存在しない公園となっております。そこで、住民に公園の価値を再認識してもらい、地域の公園に愛着を持ってもらう事業として、公園として平成27年7月4日より5日にかけて、愛護会も兼ねている「保土ヶ谷駅前公園」にて公園での災害宿泊体験を兼ねた人が集う空間として有効活用する「ハマのパークキャラバン IN 保土ヶ谷駅前公園」を実施しました。当日は、会員である中小企業の協力の元、延べ約300人の参加者にご参加いただきました。

ホームページ <http://www.hamanotoudai.com/>

【2】助成を受けて行う活動の年間計画を記入してください。

月	内 容
4月	
5月	
6月	
7月	後援依頼、協力先確定
8月	チラシデザイン作成～印刷～告知開始
9月	告知活動
10月	事業実施(3日、4日)
11月	
12月	活動報告書作成、提出
1月	
2月	
3月	

(1) 活動の内容

防災時に街区公園を利用した宿泊等の体験をベースとしながら、移動式遊具の設営や人工芝を敷設しての裸足で遊ぶ体験などを通じて、日頃身近に有るが行く公園をより身近で素敵なものと感じてもらい愛着を持ってもらうための活動を行います。主な設営機材は下記のとおり

1. テント及びキャンプ道具（災害を想定しての野営用）
2. 移動式遊具（子供の企画発案で作成した遊具です）、SUPの体験（水際線公園）
3. 人工芝（法人で保有している人工芝になります。昼間は裸足で遊びます）

当日は、開会のチェックインからはじめ、まずは子供たちに遊具で遊んでもらうなど、公園でのイベントに注目してもらうようにします。動員がかかってきた時間帯からテント設営や炊き出しなどを実施し、参加しているメンバーに災害体験をしてもらえるようにしつらえます。希望者はそのままテントで宿泊できるようにします。

(2) 活動の主催者及び参加者

主催：NPO 法人ハマのトウダイ／共催：高島中央公園愛護会

協力：スノーピーク（予定）、／後援：横浜市西区（予定）

参加者：宿泊20名、事業参加者（宿泊除き、当日立ち寄りも含む）400名

(3) 活動を実現するための方法

防災拠点として公園の機能を実感していただくと共に、身近な公園をよりたのしく親しみやすい場所として認識してもらいます。公園占有許可については現在申請中。広報はチラシ、新聞などのメディア、HP、FBなどのSNS、当会の会員向けの告知や高島中央公園愛護会会長を通じての愛護会、マンション内、地元自治会への直接告知による複合的な広報活動を実施します。

(4) 時期

平成27年10月3日（土）より平成27年10月4日（日）

(5) 場所

高島水際高島中央公園

(6) 当地区で活動を行う理由

みなとみらい地区の就業人口は約10万人、居住人口は約1万人です。高島中央公園は貯水量17万人3日分の地下貯水タンクを有する防災拠点であり、災害時に有効活用される公園です。当公園で災害時のイメージを持っていただくと共に、身近な公園に対して愛着を持ってもらい、今後の愛護会活動等に興味関心を持っていただくことが理由です。

(7) エリアマネジメントの効果

職住そろったみなとみらいエリアは事業の告知として絶好の立地であり、集客が見込めるだけでなく、高島中央公園愛護会松本氏と度重なる協議を実施しており、エリア住民参画に向けご協力をいただいています。日頃利用している公園をより身近で愛着のあるものであると感じることで、今後の愛護会活動等へつなげる効果があり、みなとみらいエリアの景観維持保全に貢献します。

(8) その他、特徴やアピールする点

単純に「防災活動」とすると一部の意識のある方たちだけのイベントとなりがちだが、国民全員が当事者となりうる災害を意識したときに、むしろ災害訓練など縁の遠い世代が公園に寄ったときにいつの間にか災害体験に巻き込まれている、というそんな空間を目指しています。楽しく遊んでもらいながら、結果として防災、災害体験をしていただくと言うところに特徴があると考えています。今後もこの活動を続ける上のひとつの拠点として、高島中央公園での活動を実施したいと考えております。

## 事例 保土ヶ谷駅前公園「ハマのパークキャラバン」

「公園の風景を1日変えてみよう」をテーマに、身近な地域の公園を多様な人たちが交流できる場所にして、愛着を持ってもらうことを目的とし、保土ヶ谷駅前公園（神奈川県横浜市保土ヶ谷区岩井町1、通称・ほどじゃが公園）愛護会とNPO法人「ハマのトウダイ」（横浜市中区不老町2）、横浜国立大学の学生らと連携し、7月4日・5日の2日間、「パークキャラバン」を開催した。公園内に人工芝を敷いた会場には、横浜国立大学地域課題実習「ほどがや『みちまち』プロジェクト」で学生らが製作した移動式屋台「ほどわごん」、子供たちがアイデアを出して東京・蒲田のファブスペース「カマタブリッジ」のデジタル工作機器で製作した遊具で遊んだりする企画を展開しました。アウトドア商品メーカー「スノーピーク」社提供により、テントを設置し、集まってもらった地域の方々にテント宿泊と炊き出しで保土ヶ谷産の野菜を使ったカレーを作り、防災体験を行った。



第1回ハマのパークキャラバン@保土ヶ谷駅前公園：当日は老若男女に身近にある公園について考えてもらった



保土ヶ谷の「ほどじゃが」を使ったカレーの炊き出しとテントでの宿泊体験で、プチ防災体験を行いました



子供が考えた移動式遊具は老若男女に好評で、多くの人に足をとめてもらうことができました。

## イメージ 高島中央公園と高島水際線公園

### ■高島中央公園



4日は「秋祭り」も開催されるので、そのお客さんにも注目してもらいたい

### ■高島水際線公園



みなとみらいらしく、SUP(スタンドアップパドルリングボート)体験で多くの方に集ってもらおう



# 収支予算書

グループ名 NPO法人ハマのトウダイ

1 収入(自己資金や他の助成金などを記入してください。)

項目	金額	説明(負担者及び負担方法等)
助成金(A)	480,800	
自己資金	120,200	
合計(B)	601,000	(B) ≥ (C)

2 支出(助成金対象経費分)

項目	数量 (単位)	単価	金額	説明
チラシデザイン費用	1式	108,000	108,000	チラシデザイン費用
チラシ印刷費用	5,000 枚	21.6	108,000	フルカラー両面
機材運搬費用	2日	64,800	129,600	人工芝及び移動式遊具運搬車両代
機材レンタル費用	2日	54,000	108,000	移動式遊具
スタッフ交通費	14 名日	1,000	14,000	ボランティア7名×2日
参加者損害保険	1契約	20,000	20,000	参加者用無記名
SUPレンタル費用	5組	5,400	27,000	1組5400円税込
SUP運搬費用	1日	64,800	64,800	SUP運搬費用車両代
SUPガイド費用	1日	21,600	21,600	
合計(C)			601,000	【みなとコース】(C) ≥ (A) 【みらいコース】(C) × 4/5 ≥ (A)